

- 問1 経済産業大臣によって指定され、100年以上の歴史がある技術や技法を用いて、主に日常生活で使用される品物を製造する工芸品を何と呼びますか。東北地方では青森県の津軽塗や岩手県の南部鉄器などがこれに含まれます。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 地場産業製品 2. 特別天然記念物 3. 重要無形文化財 4. 伝統的工芸品
- 問2 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけてオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この風の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. やませ 2. からっ風 3. フェーン現象 4. 季節風
- 問3 宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。
2. 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。
3. かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。
4. 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。
- 問4 近年、内陸部において高速道路のインターチェンジ付近に「工業団地」が造成され、工場が進出するケースが増えています。その立地理由として最も適切なものはどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 周辺に大消費地があり、製品を直接消費者に販売しやすいため
2. 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため
3. 原材料の輸入や製品の輸出に便利で、大型船が入る港湾が近いため
4. 古くから豊富な地下資源があり、燃料の調達が容易であるため
- 問5 東北地方の物流に関する統計において、国内貨物海上輸送量が約六千五百四十一千トンに達し、東北六県の中で二番目に多い数値を示している県はどこですか。その県の産業的特徴とあわせて選びなさい。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. さくらんぼの生産が盛んで、内陸工業が発達している山形県
2. 桃の産出額が多く、京浜葉工業地帯に近い福島県
3. 漁業生産量と果実産出額が共に全国上位五位以内の青森県
4. 米の生産量が全国有数で、日本海に面した秋田県
- 問6 東北地方の気候条件と産業の成り立ちについて述べた次の文章の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方では、降雪により農作業ができない（①）の期間に、（②）が貴重な収入を得るための（③）として漆器などの生産を行い、それが今日の伝統的工芸品へとつながった。」 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. ①冬 - ②農家 - ③副業 2. ①冬 - ②武士 - ③内職 3. ①夏 - ②農家 - ③本業 4. ①夏 - ②商人 - ③副業
- 問7 東北地方のある地点の気候統計において、12月と1月の降水量が200mmを超えて年間で最も多く、夏よりも冬の降水量が多いという特徴が見られる場合、その地点の場所と気候区分の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 岩手県の沿岸部 - 太平洋側の気候
2. 宮城県の仙台平野 - 太平洋側の気候
3. 山形県の内陸部 - 日本海側の気候
4. 北海道の東部 - 北海道の気候
- 問8 東北地方の岩手県盛岡市付近では、古くから鉄を材料とした工芸品が生産されており、現在は経済産業大臣によって伝統的工芸品に指定されています。この工芸品の名称と、その生産における原材料の運搬や製品の流通を支えた河川の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 会津漆器 - 阿武隈川 2. 南部鉄器 - 北上川 3. 天童将棋駒 - 雄物川 4. 南部鉄器 - 最上川
- 問9 岩手県の南部鉄器においてIH調理器に対応した製品が開発されたり、青森県の津軽塗においてスマートフォンのカバーが作られたりしています。伝統的工芸品の産業において、このような取り組みが行われている背景として最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 天然の原材料の使用を全面的に禁止し、現代の工業製品と同じプラスチック素材へ置き換えることで耐久性を高めるため
2. 伝統的な技法を維持するために、江戸時代から続く製品の形や用途を一切変えずに保存することを目的とするため
3. 伝統的な技術を守りつつ、現代の生活様式に合わせた製品開発を行うことで、国内外への販路を拡大するため
4. 手作業による工程をすべて廃止し、機械による大量生産に切り替えることで、製品の価格を大幅に下げるため
- 問10 東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何といいますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 冷害 2. 干害 3. 公害 4. 塩害
- 問11 東北地方における8月の気象統計を確認すると、日本海側の都市と比較して、太平洋側の都市では平均気温が著しく低く、日照時間も短くなる年があります。このような現象が起こる原因と、それが農業に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 山を越えて吹き降ろす乾燥した高温の風により、干害が発生する
2. 小笠原高気圧が強まることで連日の真夏日となり、水不足が発生する
3. 暖流の影響で上昇気流が発生し、集中豪雨による洪水被害が発生する
4. オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東の風により、冷害が発生する
- 問12 宮城県の三陸海岸南部には、複雑に入り組んだ湾を持つ地形が広がっています。この地形の特徴を活かし、波の穏やかな湾内でカキやワカメなどを人工的に育てる漁業が盛んですが、この「海岸地形の名称」と「漁業の種類」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 砂浜海岸 - 栽培漁業 2. フィヨルド - 遠洋漁業 3. リアス海岸 - 養殖業 4. リアス海岸 - 沖合漁業
- 問13 岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。
2. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。
3. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。
4. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 伝統的工芸品	伝統的工芸品は、法律（伝統的工芸品産業の振興に関する法律）に基づき、経済産業大臣が指定するものです。「主として日常生活で使われること」「伝統的な技術・技法や原材料が用いられていること」などが条件となっています。東北地方では厳しい冬の間の副業として、各地で特色ある工芸品が発達しました。
問2	答え 1 やませ	オホーツク海高気圧の影響で、初夏から夏にかけて東北地方の太平洋側に吹き込む冷たく湿った北東風を「やませ」と呼びます。この風が長引くと、日照不足や気温の低下を招き、農作物の生育に悪影響を及ぼします。群馬県などで冬に吹く乾燥した「からっ風」とは、吹く時期や性質が異なります。
問3	答え 1 かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。	複数の年次の地形図を比較すると、その地域の景観や土地の使われ方（土地利用）がどのように変化したかを読み取ることができます。仙台市宮城野区の事例では、1998年時点では農業や小規模な居住が中心であった場所が、2020年代には東日本大震災からの復興や都市再開発を経て、商業施設や物流拠点などの大規模な建物へと変化している様子が記録されています。選択肢にある「住宅地の激減」や「工場から伝統的集落への変化」は、実際の土地利用の変化の傾向とは異なります。
問4	答え 2 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため	高速道路の整備により、内陸部からでも空港や大都市圏へ短時間で製品を輸送できるようになったことが主な理由です。特に半導体などの軽量で高価な製品は、船ではなくトラックや飛行機で運ばれることが多いため、港湾よりも高速道路や空港へのアクセスが重視されます。選択肢にある「港湾が近い」というのは、鉄鋼業や石油化学工業などが集まる「臨海工業地帯」の立地理由です。
問5	答え 3 漁業生産量と果実産出額が共に全国上位五位以内の青森県	青森県は、東北地方において第2位となる六千五百四十一千トンの国内貨物海上輸送量を記録しており、海上輸送の拠点としての役割を担っています。これは、同県が全国五位以内に入る漁業生産量や果実産出額を支える重要な物流基盤となっており、生産と輸送の両面で東北の産業を牽引していることを示しています。
問6	答え 1 ①冬 - ②農家 - ③副業	東北地方の伝統的工芸品の多くは、豪雪地帯特有の「冬」という季節的な制約を克服するために生まれました。「農家」が耕作のできない時期に、生活の糧を得るための「副業」として加工品を作ったことが、地域特有の技術を磨き上げる契機となりました。
問7	答え 3 山形県の内陸部 — 日本海側の気候	冬の降水量が夏よりも多くなるのは、冬の季節風によってもたらされる雪の影響を強く受ける日本海側の気候の典型的な特徴です。山形県は奥羽山脈の西側に位置しているため、この日本海側の気候に属します。一方で、岩手県や宮城県などの太平洋側の地域は、冬は乾燥して晴天が多くなるため、冬の降水量は少なくなります。
問8	答え 2 南部鉄器 — 北上川	岩手県盛岡市を中心に作られている伝統的工芸品は南部鉄器です。この地域では、市内を流れる北上川の水運を利用することで、鋳物の原料となる鉄や燃料の薪、炭を効率よく運び込み、製品を全国へ出荷したことで産業が発展しました。最上川は山形県、阿武隈川は福島県や宮城県を流れる主要河川です。
問9	答え 3 伝統的な技術を守りつつ、現代の生活様式に合わせた製品開発を行うことで、国内外への販路を拡大するため	伝統的工芸品は、生活習慣の変化により需要が減少するという課題に直面しています。そのため、長年培われた高度な伝統技術を継承しながらも、IH調理器やスマートフォンといった現代の生活に不可欠な道具と組み合わせることで、新たな利用者を獲得し、地域産業を活性化させようとする動きが活発になっています。
問10	答え 1 冷害	「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。
問11	答え 4 オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東の風により、冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」という冷たい北東の風が吹き込むことで、気温が上がらず日照時間が不足する気象状況が生じます。これが農作物の不作を招く「冷害」の直接的な原因です。選択肢にある山を越えた高温の風は「フェーン現象」であり、やませとは逆の性質を持ちます。また、夏に本来発達すべき小笠原高気圧（太平洋高気圧）の勢力が弱い年に、オホーツク海高気圧の影響を強く受けてこの現象が顕著になります。
問12	答え 3 リアス海岸 — 養殖業	三陸海岸の南部に見られる、V字型の谷が沈水してできた複雑な海岸線をリアス海岸と呼びます。この地形は湾内が深く、外洋の荒波の影響を受けにくいいため、カキやホタテ、ワカメなどをいかだなどで育てる養殖業に非常に適しています。遠洋漁業や沖合漁業は、天然の魚を捕る漁法を指すため、育てる漁業である養殖業とは異なります。
問13	答え 3 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。	岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。